

保存版その⑤(=捨てないでとっておくこと) <守備編-セカンド>

※むずかしい言葉があれば、お父さん・お母さんに聞くこと。

内野の花形・センターライン！ボールを落としても間に合うのはこのポジションだけ！

セカンドは全てのカバー！

守っていてこんなにも面白いポジションはない！内野の中心・セカンドをしっかりと守ろう！

- ① 守備位置について 主に下の3種類あります。キャッチャーに「言われる前に」、状況に応じてすぐ動こう！
ピッチャーがセットしたら体を動かして待つこと！

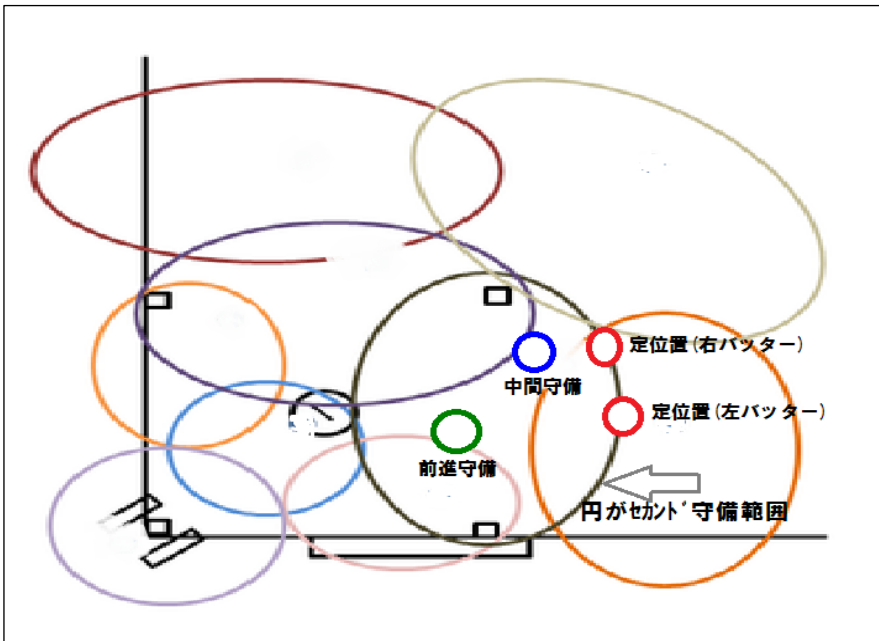
A・定位置→①ランナーなしの場合、②2アウトで点差があり、勝っている場合。

B・中間→①ランナー1、2塁にいる場合 ②ランナー3 塁でも点差がある場合。

C・前進→①これ以上相手に点をあげられない場合 ②ランナー3 塁でキャッチャーの指示があった場合。



守備範囲がものすごい広い菊池涼介選手（広島東洋カープ）



あの！トリプルスリーは守備もうまい！
山田哲人選手（東京ヤクルトスワローズ）

<A・定位置>

・なるべく深く、後ろのフライも取れる位置で。

右バッターと左バッターで守備位置を移動する。（※もしピッチャーの球が速く、バッターが振り遅れている場合、左右逆の位置を取る事！）

・セーフティバントに備えて1 塁ベースカバーの用意もしておこう。（※基本はピッチャーがカバーだが、忘れる人が多いので）

・ライト、センター方向へは自分もボールを取りに行き、サード、ショート、レフトの場合はセカンドベースへ入る準備をする。

・外野が上か横を抜かれた場合、バック・セカンドからバック・サードに切り替わるのでショートの後ろにカットに入る場合もある。

（＝その場合、セカンドベースはファーストに任せる）

<B・中間守備>

・盗塁、ゲッツーに備え、セカンドベースよりを守る。

あまりセカンドベースに行きすぎないこと！

（＝ピッチャーゴロはピッチャーがとるので）

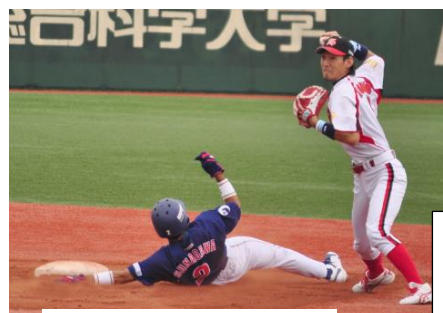
・送りバントに備えて1 塁へダッシュする事を絶対忘れず！

・基本的に右バッターの時の盗塁→セカンド、左→ショートが入る。

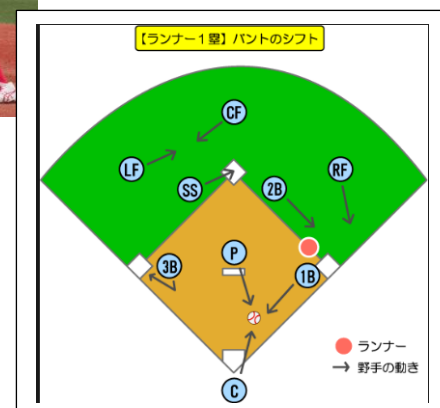
・ピッチャー、キャッチャーゴロはショートがベースに入るが、もし遅れている場合はセカンドが入ること。

・後ろのフライは深追いせず、外野に任せる。

・ゲッツーの時、ランナーとぶつからないようにベースを踏んだら前か後ろにしっかり出る事！



ゲッツーはランナーのスライディングに注意！



(↓つづく)

- ・ボールをとったら・・・1・横から投げる、2・トスする、3・ランナーにタッチして1塁に投げる、自分でセカンドベースを踏む、など色々なケースがあるので注意。
- ・ショートからのボールも「横から!」、「トス!」、「自分で(踏み!)」などすごく早く大きい声で指示すること。
- ・盗塁の時、必ずベースの前でボールを捕る事。(＝後ろにエラーしてもセンターやショートがカバーしてくれるので思い切って前に出る事)
- ・ランナーがセカンドベースを踏んだかどうか、毎回確かめる事!

<C・前進守備>

・まずは絶対前に落とす!

・毎回キャッチャーからの返球のカバーを忘れない!

・キャッチャーがタッチしやすいところ(＝ちょっと3塁よりの低い所)に投げる事を頭に入れる!

(＝フォースアウトの時はキャッチャーの首あたりを狙う)

・ホームが間に合わない場合、打ったランナーをアウトにする!

・サードランナーがいる場合、スクイズの動きをよく見て「走った! 行った!」とデカイ声で言う事。

・バントなどで1塁が前に出たら、カバーも忘れないこと!

・ピッチャーが苦しい顔をしていたら「おれの所に打たせればアウトにするよ!」と優しく話しかけること。

ロージン(滑り止め)を触らせてもよい。



タッチしやすいところに投げる!

② 中継位置について ※カットは全部低いボールで投げる事!

※ノーアウトランナーなし→打球レフト→セカンドベースへ入る

→打球センターでライトより→打球を追ってカットの準備。

半身でセカンドベースへ投げる準備。ランナーが来ると思うようにする!

→打球レフト・センターの間→ショートのちょっと後ろに行き、

もしカットボールがそれた時のカバー。

→打球がセンター・ライト間→追いかけていき「両手を上げて」半身で呼ぶ。

すぐショートへ投げる。バックホームの場合はファーストまで「低いボール」で。

※ノーアウト・1アウトランナー1塁

→打球レフト→セカンドベースで待ち、すぐタッチ!

ランナーがベースを踏んだのを確認。

→打球センターでライトより→バック・サードの為カット。

→打球レフト・センターの間→バックホームの為、ショートの後ろにつく。

→打球がセンター・ライト間→追いかけていき「両手を上げて」半身で呼ぶ。

すぐファーストまで「低いボール」で。

※ノーアウト・1アウトランナー2塁

→打球レフト→セカンドベースで待ち、カットからこちらに来るかもしれない

ランナーがベースを踏んだのを確認。

→打球センターでライトより→バック・ホームの為カット。

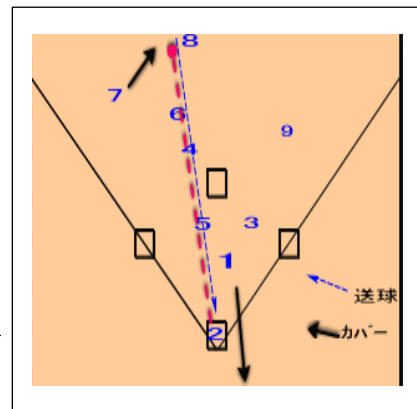
→打球レフト・センターの間→打ったランナーが2塁に来るので

セカンドベースで待つ。

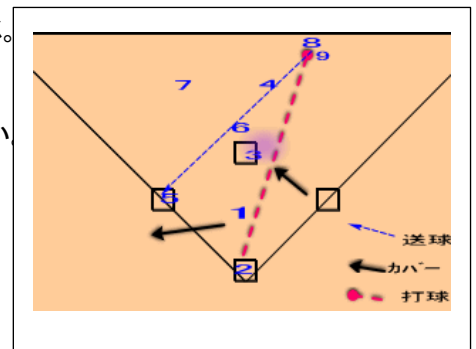
→打球がセンター・ライト間→追いかけていき

「両手を上げて」半身で呼ぶ。

すぐセカンドまで「低いボール」で。



左中間バックホームの場合



右中間バックサードの場合

③ 牽制位置について ※ランナーをアウトにするのが目的ではない。リードを小さくさせる為に行う

※ノーアウト・1アウトランナー1塁→1塁の後ろ暴投のカバー。

※ノーアウト・1アウトランナー2塁→※ショート、ピッチャーと事前にサインを決めておく!

ピッチャーの目を見ながら1回入ってすぐポジションに戻る。何回もベースへ入らない

<最後に>

ショートとセカンドは難しいけどやりがいのある楽しいポジションなので、とにかく数多く練習をしっかりとやろう!

事前の話し合いがすごく大事!

プロ野球のうまい選手を良く見て、まずはマネしてみよう!

